



森村橋



町指定文化財「嘉慶銘宝篋印塔」

## 国際交流の推進



ウクライナ大使館職員 富士登山

平成8年にカナダ・ブリティッシュコロンビア州・ミッション市と姉妹都市提携を結び、平成29年には中華人民共和国・浙江省・寧波市と友好交流関係協定を締結し、両市とは相互の公式訪問交流、学生のホームステイ、オンライン交流など小山町国際友好協会と協力し交流事業を実施しています。令和4年にはウクライナ大使館職員などが富士登山をするなど更なる国際交流を推進していきます。

## 国登録有形文化財 「森村橋」

森村橋は、1906年（明治39年）に軽便鉄道用（プラットトラス）として建設されたのち道路橋として使用されました。明治期に製作された数少ない現存する国産トラス橋の1つです。

国登録有形文化財であり、土木遺産「鉄の橋100選」にも選定されています。

旧富士紡績小山工場の引込み

線の橋として建設され、今なお現位置に現存する森村橋は、地域産業の発展過程を示す重要な産業遺産となっています。

森村橋は建設から110年以上が経過し、老朽化により腐食が激しいことから平成29年度から復原工事に着手し、令和元年度に完成しました。

復原工事は、仮設のトラス橋に森村橋を支持させて解体した後、架設工場にて補強・補修を行いました。総工事費4億2千661万円の大規模工事を実施しました。

## 文化財の保護と継承

町内には、文化財や史跡の他、金太郎にゆかりの地が数多く残っています。それら全てにそれぞれの物語があり、文化と歴史の香りを感じることができます。

新たに文化財の掘り起こしを行うとともに、文化財の保護と継承、活用を推進します。

- ・ 国指定文化財（2件）
- ・ 国登録有形文化財（8件）
- ・ 静岡県指定文化財（4件）
- ・ 小山町指定文化財（18件）



豊門公園

## 芸術に触れる機会の創出

町では、町民に一流の文化芸術に触れる機会を創出するため「お

やまアートビレッジ」を開催しています。それら全てにそれぞれの物語があり、文化と歴史の香りを感じることができます。

豊門公園地内には6件の国登録有形文化財があり、なかでも豊門会館は、明治39年に東京（向島）に建築された富士紡績初代社長の和田豊治の邸宅を大正14年に移築したもので、和館と洋館を合わせもち、規模が大きく、内部装飾に優れた建物です。西洋館は、塔を正面に配したモダンな印象を与える建物となっています。令和元年度には大規模改修し、小山町発展のシンボルとして町民から親しまれています。

町は富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系と丹沢山地、箱根外輪山に囲まれ、自然環境と多彩な地形・地質、そして古くから交通の要所であったことなどを背景に、それぞれの地域で特徴的な歴史文化が育まれ、現在まで守り伝えられています。明治22年に東海道本線が開通し、小山駅（現駿河小山駅）が開設されました。明治の終わりから町は大きく発展しました。

鉄道幹線の開通、日本の工業を先導した富士紡績株式会社の創業により、明治の終わりから町は大きく発展しました。

## 町の経済発展の礎築く



おやまアートビレッジ

「おやまアートビレッジ」は、ストリートピアノや町内出身の芸術家による作品展、音楽家による演奏会、コンサートなど年間を通して開催しています。誰もが気軽に参加し、芸術文化に親しむことができる機会を提供しています。「文化芸術のまち、おやま」を全国に積極的に発信しています。

やまアートビレッジ」を開催しています。

「おやまアートビレッジ」は、